

- 日 時：令和6年3月29日（金）10:00～12:00
- 場 所：岡山県美作高等学校（対象：高校生9名、本校とSDGs パートナーシップ包括協定を持つ美作町議会議員）
- 講演者：ムーンショット目標9
山田真希子プロジェクトマネージャー（PM）
[量子科学技術研究開発機構 グループリーダー]

■ 内 容：

山田PMは、自身のプロジェクトについての講演を行いました。人間の盲点や思い込みについて、テスト事例を基に紹介され、こころの研究は脳の研究としても捉えられることが示しました。山田PMは「無知の知（無知を自覚）が新たな学びや知の創造につながる一方で、無知の無知（無自覚）も人間の生存や心身の健康に役立っていることを科学的に紐解き、利用できる技術を開発して人の生き方をサポートしたい」と述べました。

講演後に「2050年にどんな社会を目指したいか」をテーマに参加者が議論しました。高校生からは個性を最大限に表現できる社会や少子高齢化の解消、みんなが健康で笑顔になる社会などを発表し、実現に向けて「やりがいを持って好きな仕事ができる」「女性に魅力的な社会や子育てしやすい地域をつくる」といった考えが述べられました。

■ グループディスカッションでの感想（抜粋）：

- ・無知の自覚を聞いて、知ろうとすることや学ぶことの大切さを改めて感じた。
- ・アスリートの前向きではなく、おだやかな前向きもある。
- ・ポジティブに考えることによって、長生きできたり、良い影響があったりするという話を聞いて、前向きな気持ちで頑張ろうと思った。

- ・ストレスフリー社会であってほしい。
- ・物事を様々な視点から考えることが大切。
- ・がんの状態でも前向きがあるのかと知った。
- ・長時間労働無くし自分らしい生活を送りたい。

